

# 『これからの大学教育の在り方について考える』

講師 : 山田宣夫 (目白大学教授・筑波大学名誉教授)  
日時 : 2016年12月16日(金) 16:00～17:30  
場所 : 筑波大学東京キャンパス文京校舎 120 講義室  
参加費 : 無料



講師の山田宣夫氏は英語学分野で生成音韻論の研究に従事する一方、目白大学においては外国語学部長として、筑波大学においては人文学類長、第一学群長、人文文化学群長、教養教育機構副機構長として、大学教育に深く携わってきました。そして、計40年以上にわたる大学での研究・教育の経験を土台に、『大学教育の在り方を問う』(東信堂)を先般出版いたしました。この中で山田氏は現在の日本の大学教育の問題点と大学教育・大学院教育が本来果たすべき役割について、高く広い視座から論じています。

今回の講演会では著者ご自身に著書のエッセンスをわかりやすく紹介していただき、大学教育について考える機会としたいと思います。分野、立場を問わず、大学教育についてご関心のあるみなさまのご来聴をお待ち申し上げます。



企画・運営 : 島田雅晴 (筑波大学人文社会系 准教授)  
                  長野明子 (東北大学大学院情報科学研究科 准教授)  
共催 : 筑波大学人文社会系  
問い合わせ先 : 長野明子 (nagano@ling.human.is.tohoku.ac.jp)

